

1996 年度第1回日本学生オリエンテーリング連盟幹事会 議事録

日本学生オリエンテーリング連盟 広報部

議長:大滝 書記:松浦

日時:1996年6月1日(土)14:30-18:10 19:00-22:00

場所:ホテル寿々木

1. 各幹事活動方針

特に問題のあるところを中心に議論

会計(与儀)

書式等の全国統一を図りたいので所定の用紙で(E-mail 不可)の各部局会計担当者への徹底をお願いしたい。

各委員会、部局、地区学連の会計担当者を報告してほしい。

会計への各種書類の送り先は事務局ではなく直接会計宛でお願いしたい。

東海地区代表幹事(小田)

事務の滞りなど問題はあるが、担当理事、OBなどと相談し解決に向けて模索中。

2. 大会後援申請(幹事長・大滝)

4大会の後援申請があった

筑波大、岩手大、大阪大が賛助会員への特典を明記していないが強制すべきものではないのでしょうがない。今後訴えて行く。

東北大が日程変更に伴い6カ月前規定を守っていないが謝罪文もあるし変更前のものは期日を守っているのでもいいでしょう。

10 / 12 岩手大大会 4 / 11 受理

10 / 13 東北大大会 5 / 7 受理

10 / 20 筑波大大会 4 / 15 受理

11 / 17 大阪大大会 5 / 15 受理

- - > 以上4大会いずれも承認

3. 地区学連補助金について

北東 ¥ 80,000

東海 ¥ 90,000

関西 ¥130,000

中九四 ¥150,000

関東 ¥ 0

北信越 ¥ 0

各地区学連申請の通り。総額は予算より¥50,000 より少ない。残りの¥50,000 を申請のあった4学連に対して均等に配分して加算する事も考えたが当面日本学連の内部留保とし、年度内に再度地区学連より請求があった場合、別途協議することに。

日本学生オリエンテーリング連盟

Q. 地区学連補助金の意図は？(関西地区代表幹事・山下)

A. 地区学連の財政力格差の是正(大滝)

各地区学連の請求額の算出根拠が明確ではない(与儀)

次年度以降請求書に決算書と請求の根拠を添えるように徹底しましょう。各地区での引き継ぎをしっかりとるように。

4. 各部局活動報告

広報部(広報部長・塩谷)

いぶき第1号6 / 10発行予定

原稿回収順調

会計担当者をおいた

E-mailのIDを取得した、E-mailで原稿を送っていただいた方には今後以来等もE-mailで行う

事業部(事業部長欠席のため幹事長より報告)

担当校決まる

事務局(事務局長欠席のため幹事長より報告)

加盟登録用紙送付終了

5. 会計システム運用について(与儀)

今年度より幹事会・総会において以下の事項を報告しチェックを受けることにする。

予定されていた支出と実際の予算の執行状況について。

高額支出の依頼の有無及び高額支出執行状況

現段階での残高

補正予算案の提出状況とその内容

会計状況

現在の日本学連の口座の金額(1996年5月31日)

¥7,902,309

ただし、この金額はインカレ貸し付け金がまだ支払われていない。

会計監査が今日くることができないので明日承認を受けて結果をE-mailで流す。

Q. この報告はいつからいつまでのものか。(副幹事長・松浦)

A. 4 / 4 ~ 5 / 30です。(与儀)

4 / 4付で原因不明の収入3000円があるが賛助会員のものと思われる。事務局の書類と照合して解決したい。

前年度の会計報告がまだなので正式な繰り越し金等はまだ解らない

< - 大体のお金の流れを把握していれば結構 (大滝)

日本学生オリエンテーリング連盟

各部局へのお金の配布はインカレ実行委員会への貸出を優先する関係上小出しになる点を了承してもらいたい。

資料は4/4～5/30までの中間報告。次回は4/4～8月までの集計をもって行くので次回の幹事会でも今回の資料ももって来てもらいたい

6. 会計監査細則について

第6条

「下記点について特にチェックを…」の部分を「最低限以下のチェックを…」に変更
第4項「残高のチェック」を追加 - > 承認

7. インカレ関係

19回インカレ

ブリテン1を地区学連に送らずいぶきだけに代用し結果として規定より遅れたことを謝罪

21回インカレ (理事 = 実行委員長・小山)

メーリングリスト(ML)立ち上げました。アドレスは yamaguchiic@urban.or.jp

印鑑について

いつから使うかは正確にはわからないが見積もりは 26900 円 (店によって価格差大きい) 現在あるのは二つ。奈良と常磐で使うのでやはり必要。

ショートでも使えるので真に必要なと感じたとき実行委員長の判断で従来と同じ文面で作る。日本学連の備品となるので学連の予備費を充てる。(なるべく 30000 円以内で)

4回ICS (理事・木村)

11/3開催

標高が高いので寒い、霧が出たら翌日に延期も有り得る。

エントリーはすべて電子メールを用いる。

4月に試走会をカラーマップで行った

地図は順調

5回ICS (木村)

静岡県で開催したい

地元交渉中

運営形態は4回のように共催にはならない予定

8. 19回インカレマップの販売権について

日本学生オリエンテーリング連盟

関西学連は19回インカレマップを日本学連から安く買って勝手に売りたい。その後の増刷やリメイクに関しては日本学連のトレインコントロールの下で行いたい。という提案を受けて、関西学連報告してもらい幹から幹事に必要枚数を事会から19回インカレ実行委員会にその分の地図を多めにするようにたのみ、インカレ後に関西学連に安価で売却。関西は日本学連のトレインコントロールに従うとともに転売に対しても責任を負うという結論に至る。

JOAの選手登録制度について(理事・広江)

来年度より実施される。学連にも協力していただきたい。

Q.登録の窓口は(小山)

A.都道府県協会になります。(広江)

Q.登録すると参加費はどうなるのか。(与儀)

A.公認大会一つにつき500円か1000円安くなる。(広江)

未登録者は公認大会一つにつきAクラスで1000円、Bクラスで500円の一次登録料を払うことになる。

Q.2000円は新生には高いのでは(与儀)

A.新生は一次登録が主になるだろう、他の競技団体などに比べれば決して高くない金額(広江)

Q.JOAは何をしてくれるのか、情報提供程度なら必要ない(与儀)

A.オリエンティアの利益代表としてオリエンテーリングが永続的に続けることができるようにして行きたい。(広江)

広江理事よりJOAから講師を招いて「選手登録制度を考える」というテーマのオリエンテーリングセミナー開催の提案が出される。

Q.参加費一人500円で採算が取れるのか

A.なるべく安くやりたい。赤字にはならないと思う。学生に限らず広くオリエンティアに呼びかけ参加してもらいたい。JOAの意見を聞く機会にもなるしJOAに意見を言う機会にもなる。

幹事会としてやる意志があればやろう(技術委員長・佐藤)

日本学連が主催するということは学連が登録制度を推進しているように感じられるのではないか。(理事・天野)

せっかくだからやってみては(大滝)

やってみて無駄にはならないだろう(北東地区代表幹事・泉川)

#開催決定

講師の都合を鑑み京葉大会の前日、筑波大会の前日、西日本大会の前日あたりに開催する。会場の手配等は幹事長が行う。

10.技術委員会活動報告

5/3技術委員会がありました

日本学生オリエンテーリング連盟

・18回インカレTA報告

地図作成が遅れがちだった。
インカレのテレイン会場に関する情報を公開しても良いのでは。
TA補佐をつけたが今後もそうして行きたい。など

ユニバーシアード出場選手決定

4/29「所野 1,1」 監督:丸山哲史 コーチ:鈴木康史、田島利佳

10/12~13、12月末に学連合宿の予定

10/12~13 コーチングクリニック開催予定

インカレコントローラー(旧TA)決定

19回インカレ 落合氏

20回インカレ 桜井氏

4回ショート 利光氏

提案

会長名で委員委嘱場を発行してみてもどうか。

目的:常任委員である技術委員会の委員に対して委員であることの明確化を図る - > 承認

Q. オフィシャル一人の渡航費を全額補助する話はどうなったのか(理事・山川)

A. 今回に関しては考え方も変わり、国内での合宿に重点を置いた資金利用とし、監督の丸山氏には50000円と現地での滞在費を補助することになった。

Q. 3回ショートインカレの黒字分は今年度会計に繰り入れられるのか

A. そうです。今年度の事業収入になります

Q. 18回インカレでオフィシャルの増員を認めましたが正式に可決されたのでしょうか。(理事・土方)

A. されました

Q. TAが3人になりましたが人数に上限などは設けないのか(土方)

A. ケースバイケース。一人よりは複数の方が適性と考えている。

Q. そのことによる採算は度外視か(土方)

A. ある程度は考えるが必要な経費

11. 20回インカレについて(山川)

下見に行った、テレイン、会場、宿舎などどうにかなりそう。

メーリングリスト立ち上げました

アドレスは joban@paradise.kz.tsukuba.ac.jp

12. 理事会改革について(山川)

[理事会内、又は幹事会内の担当理事としての議論は「幹事会ML」におけるものを正式なもの

日本学生オリエンテーリング連盟

とする]と言う山川氏の提案に関して

インターネットについて少し勉強したが従来の汎用的な手段を捨てることはできないと判断。理事は自覚が必要、仕事に対しては自分の判断でやってもらうべきだ。(山川)

本当に重要なものとどうでもいいものが電子メールだと混同しやすい、道具としては便利だし優れているので活用はすべきだが重要なことは直接あって話し合うべきだし紙として残すべきだ。(広江)